

# 交番検査車両所の田中正雄助役が間違っ現認！ しかし反省も謝罪もなし！ 誤魔化そうとする支社！ それで社員との信頼関係はつくれますか？

12月10日午前8時頃、4階詰所のテレビの前のソファで社員（他労組組合員）が私たちの労働組合が発行した情報（ビラ）を読んでいた。それを見た田中検修総括助役は「事情」も確かめずいきなりその社員からビラを取り上げ、たまたま近くのソファで同じビラを読んでいた社員（私たちの労働組合員）に対して「〇〇！ビラ配ったらあかん」と声を挙げ、「ビラ配りや」と叫び現場管理者3名を呼びにいき、戻ってくると「〇〇君ビラ配りしたやろ」「8時現認します」などと一方的にまくし立てその場を立ち去ったそうです。

その後、「現認」と言われた社員（組合員）は、ビラをもらってそこで読んでいただけでビラは配っていないことが明らかになりました。「現認」と言われた社員は田中助役に事実確認と「現認」の撤回を求めにいきました。しかし、田中助役は撤回するどころか「第三者のそばでビラを持っていたらろう」と完全に開き直ってしまったそうです。

そもそも、休憩時間での組合活動（ビラ配布）は最高裁判決でも認められていて何も問題ありません。ビラ配布に対する圧力であり組合敵視の姿勢は許せません。

12月22日、この問題に対して関西支社と苦情処理会議の事前折衝を行いました。その中で関西支社・清水係長は、「現認」と言われた組合員について、「（ビラを読んでいた社員の）近くにいてビラを持っていた。まぎらわしい行為があった」「再調査します」と「現認」と言われた社員の方を悪者にしようとしています。「現認」と言われた社員（組合員）はビラ配布をしていなかったのですから、早急に「現認」を撤回し謝罪をすべきです。

社員との信頼関係を壊しているのは会社です！

みなさんどう思いますか！！